

# 2023年3月期第3四半期決算説明会



2023年1月31日  
西日本旅客鉄道株式会社

1

23.3期第3四半期決算及び通期予想の概要 P. 3

---

2

23.3期第3四半期決算及び通期予想（詳細） P. 10

---

1

23.3期第3四半期決算及び通期予想の概要 P. 3

---

2

23.3期第3四半期決算及び通期予想（詳細） P. 10

---

## 23.3期3Q決算・通期業績予想 ハイライト

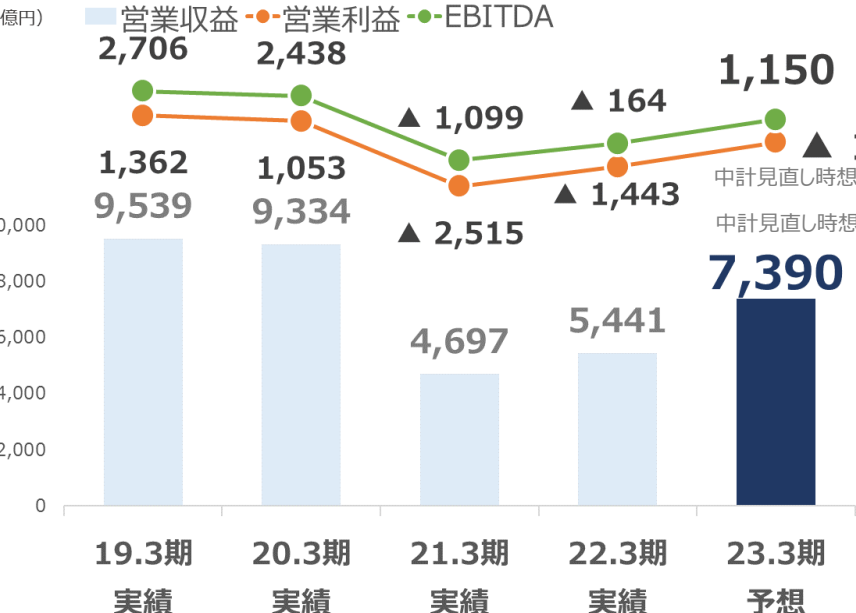
- **23.3期第3四半期**は、第7波収束後の需要回復に加え、全国旅行支援や水際対策緩和等の効果もあり、第3四半期累計で、**連結・単体とも**に20.3期以来3期ぶりの**黒字**。
- **コスト構造改革**の取組みは、今期単体**▲200億円**の計画に対し、第3四半期実績は**▲155億円**。
- 新幹線需要の実勢としては9割未達と見ており、今後も第8波の影響が懸念されるところではあるが、**通期業績予想は達成できる見通し**。配当についても**従来予想を据え置く**。

(億円)

	22.3期	23.3期	対前年		23.3期	対前年		対中計見直し
	3Q累計実績	3Q累計実績	差額	比率	通期予想	差額	比率	比率
<b>【連結】</b>								
営業収益	7,299	<b>9,748</b>	+2,448	133.5%	<b>13,090</b>	+2,778	127.0%	90.3%
営業費用	8,094	<b>9,048</b>	+953	111.8%	<b>12,790</b>	+1,288	111.2%	97.6%
営業利益/損失(▲)	▲ 794	<b>699</b>	+1,494	-	<b>300</b>	+1,490	-	21.4%
経常利益/損失(▲)	▲ 826	<b>598</b>	+1,424	-	<b>135</b>	+1,345	-	10.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益/損失(▲)	▲ 540	<b>873</b>	+1,413	-	<b>585</b>	+1,716	-	73.1%
EBITDA	401	<b>1,880</b>	+1,478	467.8%	<b>1,930</b>	+1,500	449.9%	58.5%
<b>【単体】</b>								
運輸収入	3,651	<b>5,103</b>	+1,451	139.8%	<b>6,730</b>	+1,853	138.0%	86.8%
営業費用	5,102	<b>5,374</b>	+271	105.3%	<b>7,645</b>	+598	108.5%	97.4%

\*「対中計見直し」の比率は「収益認識に関する会計基準」の影響を加味していません。

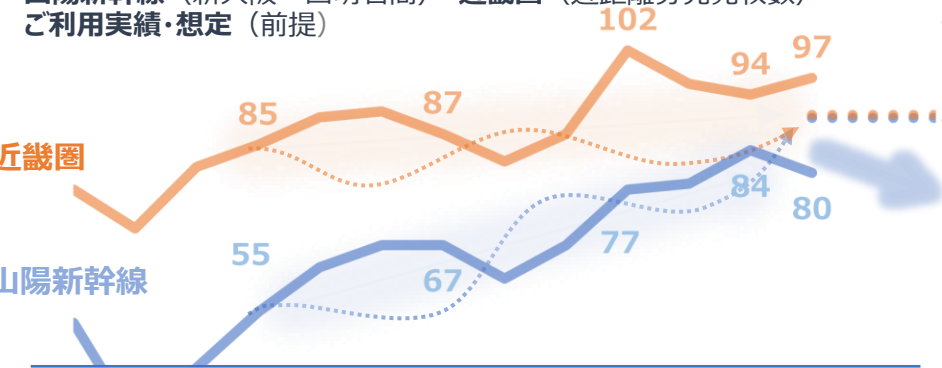
# 23.3期3Q決算・通期業績予想 運輸業



\*21.3期以降は「収益認識に関する会計基準」を適用した数値です (23.3期中計見直し時想定を除く)

## 23.3期における想定(前提)

山陽新幹線 (新大阪～西明石間)・近畿圏 (近距離券発売枚数) ご利用実績・想定 (前提)



新幹線: 4月55%程度 → 12月末頃コロナ前の90%程度に回復と想定  
 近畿圏: 4月85%程度 → 12月末頃コロナ前の90%程度に回復と想定  
 通期計画は達成できる見通し

22.3期 23.3期

22.1月 4月 7月 10月 23.1月(～21日)

## 営業収益

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
うち単体運輸収入	4,065	5,520
新幹線	3,651	5,103
近畿圏	1,581	2,563
その他在来線	1,580	1,905
	489	634

## 営業利益

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
	▲937	310

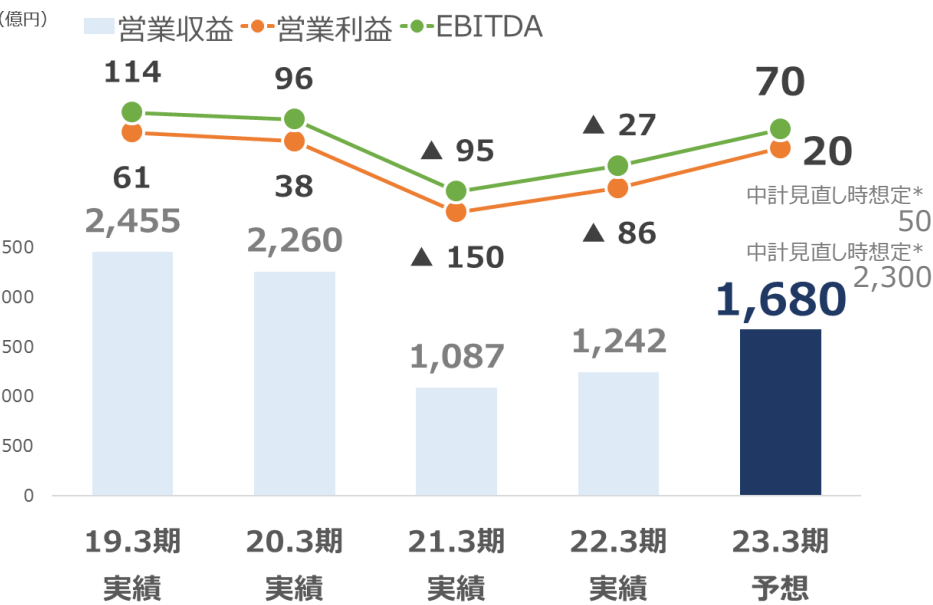
## EBITDA

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
	10	1,233

## ポイント

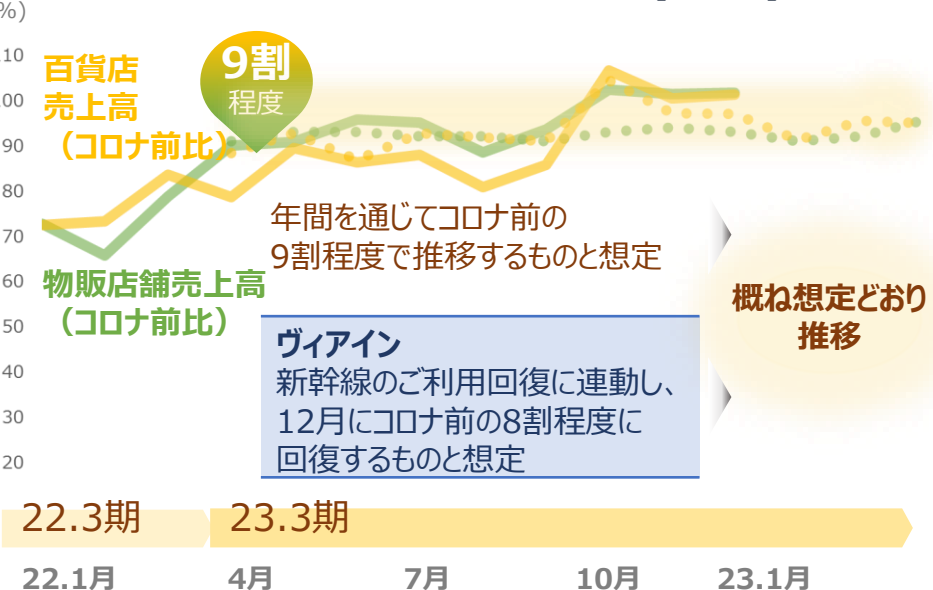
- 12月末頃にコロナ前の9割程度に回復するとの想定に対し、第3四半期の3か月間は、第7波収束後の需要回復に加え、全国旅行支援等の効果もあり、概ね計画どおり推移。
- 第4四半期は「第8波」の長期化等による影響が懸念される場所があるが、今のところ通期計画は達成できる見通し。

# 23.3期3Q決算・通期業績予想 流通業



\*21.3期以降は「収益認識に関する会計基準」を適用した数値です（23.3期中計見直し時想定を除く）

## 23.3期における売上高想定(前提)



## 営業収益 (主な内訳) (億円)

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
物販飲食業	926	1,240
うち ヴィアイン	762	1,043
百貨店業	132	161

※各内訳は主な子会社の合計値であり、その合計はセグメント計と一致しません

## 営業利益 (主な内訳) (億円)

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
物販飲食業	▲65	34
うち ヴィアイン	▲53	29
百貨店業	▲32	▲10
物販飲食業	▲12	2

※各内訳は主な子会社の合計値であり、その合計はセグメント計と一致しません

## EBITDA (主な内訳) (億円)

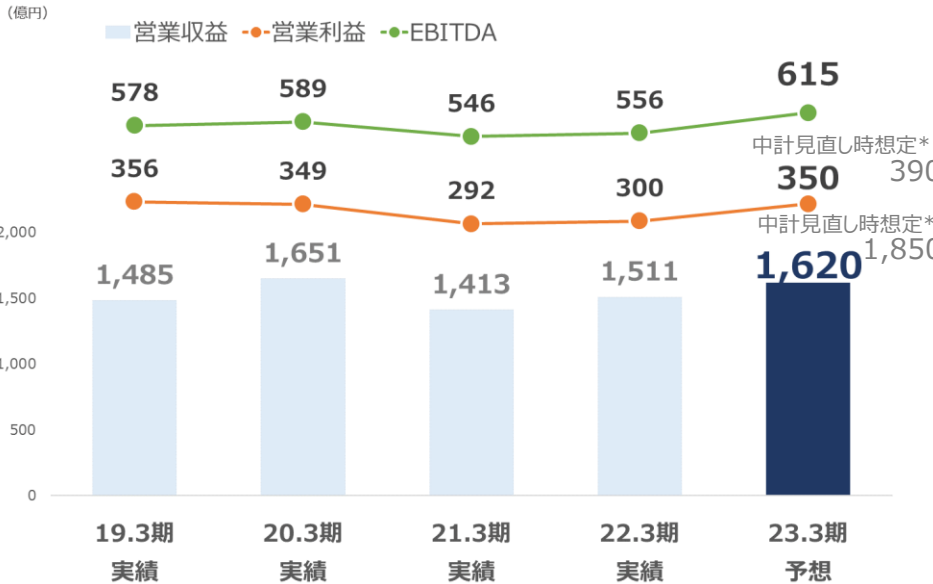
	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
物販飲食業	▲23	76
うち ヴィアイン	▲24	58
百貨店業	▲19	1
百貨店業	▲5	9

※各内訳は主な子会社の合計値であり、その合計はセグメント計と一致しません

## ポイント

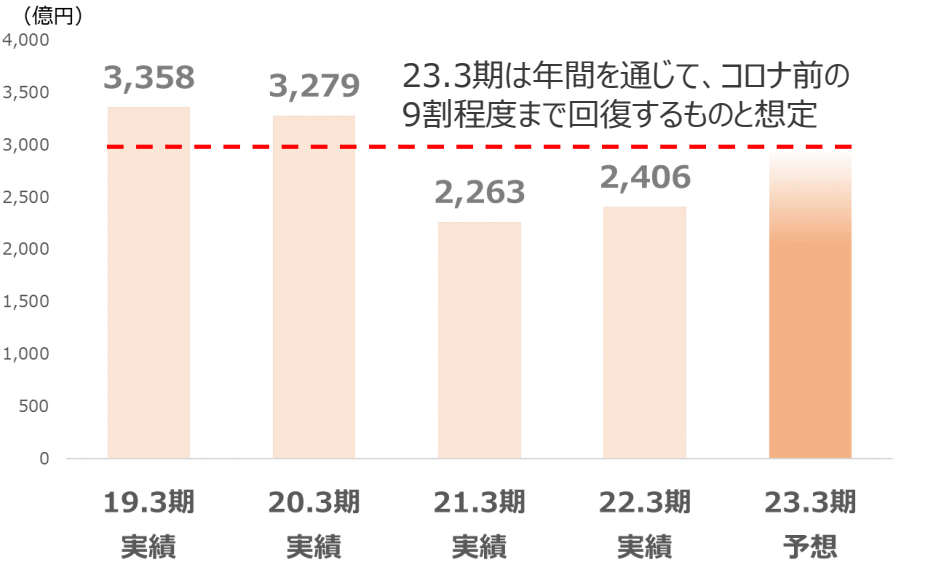
- コロナの影響の緩和に伴い、駅構内店舗や百貨店売上が回復。Viainをはじめ、全国旅行支援等の効果も。

# 23.3期3Q決算・通期業績予想 不動産業



\*21.3期以降は「収益認識に関する会計基準」を適用した数値です（23.3期中計見直し時想定を除く）

## 23.3期におけるSC売上高想定(前提)



23.3期は年間を通じて、コロナ前の9割程度まで回復するものと想定

## 営業収益 (主な内訳) (億円)

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
不動産賃貸・販売業	998	1,116
うち 不動産賃貸	357	380
うち 不動産販売	291	340
SC業	337	389

※各内訳は主な子会社の合計値であり、その合計はセグメント計と一致しません

## 営業利益 (主な内訳) (億円)

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
不動産賃貸・販売業	240	275
うち 不動産賃貸	114	111
うち 不動産販売	23	45
SC業	42	65

※各内訳は主な子会社の合計値であり、その合計はセグメント計と一致しません

## EBITDA (主な内訳) (億円)

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
不動産賃貸・販売業	428	472
SC業	89	116

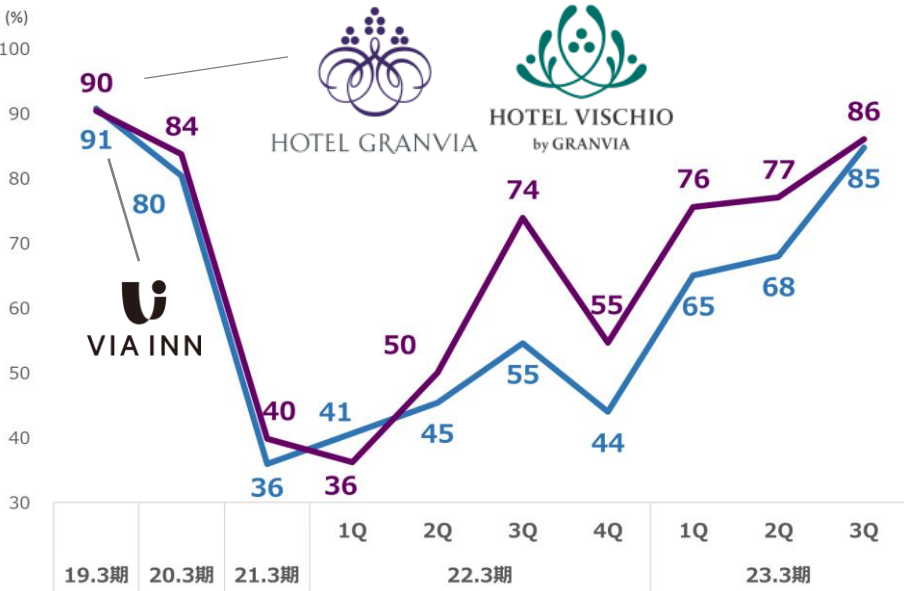
※各内訳は主な子会社の合計値であり、その合計はセグメント計と一致しません

## ポイント

- 新規開業物件やその平年度化、投資家向け販売・SC売上高の増により、対前年増収増益。

# 23.3期3Q決算・通期業績予想 その他事業（ホテル業・旅行業）

## ■ ホテル稼働率の推移



※宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」は流通業です

## ■ 23.3期における想定(前提)

### 【ホテル業】

- 22年4月の稼働率はコロナ前の7割程度
- 鉄道需要の回復に伴い、4Qでコロナ前の9割程度まで回復するものと想定

### 【旅行業】

- 22年4月における国内旅行商品の予約状況はコロナ前の3割程度
- 旅行需要の緩やかな回復に伴い、22年12月末時点で国内旅行収入はコロナ前の6割程度と想定

## ■ 営業収益（主な内訳）

(億円)

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
ホテル業	140	230
旅行業	595	1,011

※各内訳は主な子会社の合計値であり、その合計はセグメント計と一致しません

## ■ 営業利益（主な内訳）

(億円)

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
ホテル業	▲69	▲17
旅行業	▲2	47

※各内訳は主な子会社の合計値であり、その合計はセグメント計と一致しません

## ■ EBITDA（主な内訳）

(億円)

	22.3期3Q累計実績	23.3期3Q累計実績
ホテル業	▲43	7
旅行業	0	50

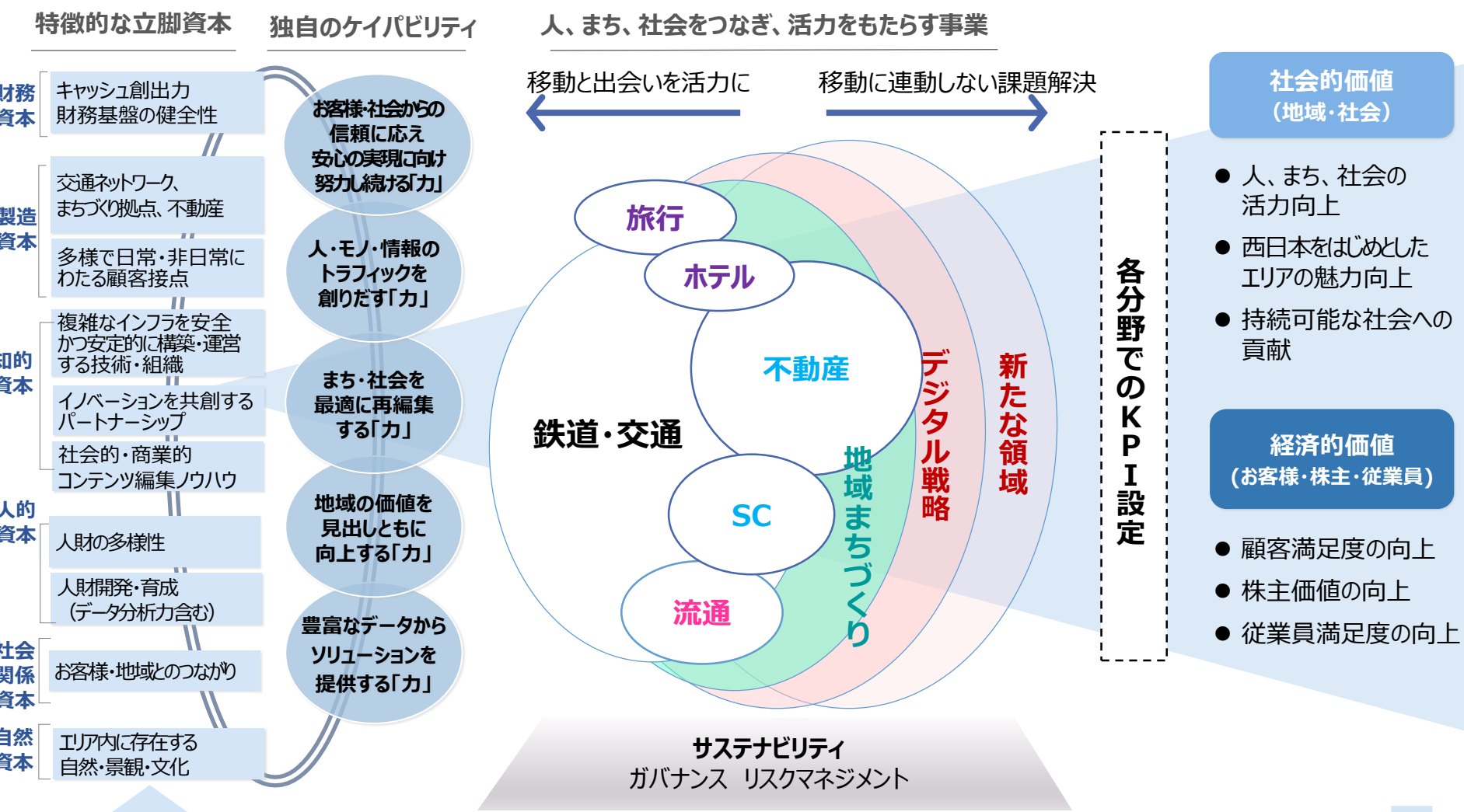
※各内訳は主な子会社の合計値であり、その合計はセグメント計と一致しません

## ■ ポイント

- ホテル業においては、コロナ影響が軽減したこと、また全国旅行支援や水際対策緩和の効果もあり、宿泊部門を中心に業績が回復。
- 旅行業(第3四半期は7-9月)においては、第7波のなか、ワクチン接種事務局業務等のソリューション事業が引き続き堅調。計画を上回って推移している。



# 長期的な価値創造および次期中計に向けて



- 事業を通じた社会的価値創出による安心・信頼とつながりの向上
- サービスタッチポイント/トラフィック増加によるネットワークおよびインサイトデータ拡充
- 社会的価値・経済的価値の達成によるイノベーション拡大と従業員の働きがい向上

1

23.3期第3四半期決算及び通期予想の概要 P. 3

---

2

23.3期第3四半期決算及び通期予想（詳細） P. 10

---

# 決算ハイライト

(単位：億円)

	2022年3月期 3Q累計実績 A	2023年3月期 3Q累計実績 B	対前年		2022年3月期 通期実績 C	2023年3月期 通期予想 (1/31)* D	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
<b>【連結】</b>								
営業収益	7,299	9,748	+2,448	133.5	10,311	13,090	+2,778	127.0
営業利益又は損失 (▲)	▲ 794	699	+1,494	-	▲ 1,190	300	+1,490	-
経常利益又は損失 (▲)	▲ 826	598	+1,424	-	▲ 1,210	135	+1,345	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は純損失 (▲)	▲ 540	873	+1,413	-	▲ 1,131	585	+1,716	-
<b>【単体】</b>								
営業収益	4,307	5,814	+1,507	135.0	5,776	7,690	+1,913	133.1
運輸収入	3,651	5,103	+1,451	139.8	4,876	6,730	+1,853	138.0
営業費用	5,102	5,374	+271	105.3	7,046	7,645	+598	108.5
人件費	1,348	1,383	+34	102.6	1,807	1,775	▲ 32	98.2
物件費	2,326	2,571	+245	110.6	3,347	3,975	+627	118.8
動力費	294	423	+128	143.7	408	590	+181	144.6
修繕費	895	886	▲ 8	99.0	1,367	1,510	+142	110.5
業務費	1,136	1,261	+125	111.0	1,572	1,875	+302	119.3
減価償却費	943	917	▲ 25	97.3	1,272	1,255	▲ 17	98.6
営業利益又は損失 (▲)	▲ 795	440	+1,235	-	▲ 1,270	45	+1,315	-
経常利益又は損失 (▲)	▲ 886	328	+1,214	-	▲ 1,382	▲ 100	+1,282	-
四半期(当期)純利益又は純損失 (▲)	▲ 523	716	+1,240	-	▲ 1,216	480	+1,696	-

\*2022年11月1日発表の通期予想から変更していません

# 単体損益計算書と業績予想

(単位：億円)

	2022年3月期 3Q累計実績 A	2023年3月期 3Q累計実績 B	対前年		2022年3月期 通期実績 C	2023年3月期 通期予想 (1/31)* D	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
営業収益	4,307	5,814	+1,507	135.0	5,776	7,690	+1,913	133.1
運輸収入	3,651	5,103	+1,451	139.8	4,876	6,730	+1,853	138.0
その他収入	656	711	+55	108.4	899	960	+60	106.7
営業費用	5,102	5,374	+271	105.3	7,046	7,645	+598	108.5
人件費	1,348	1,383	+34	102.6	1,807	1,775	▲ 32	98.2
物件費	2,326	2,571	+245	110.6	3,347	3,975	+627	118.8
動力費	294	423	+128	143.7	408	590	+181	144.6
修繕費	895	886	▲ 8	99.0	1,367	1,510	+142	110.5
業務費	1,136	1,261	+125	111.0	1,572	1,875	+302	119.3
線路使用料等	200	199	▲ 0	99.7	267	270	+2	100.8
租税公課	285	302	+17	106.0	351	370	+18	105.3
減価償却費	943	917	▲ 25	97.3	1,272	1,255	▲ 17	98.6
営業利益又は損失 (▲)	▲ 795	440	+1,235	-	▲ 1,270	45	+1,315	-
営業外損益	▲ 91	▲ 111	▲ 20	-	▲ 112	▲ 145	▲ 32	-
営業外収益	82	54	▲ 27	-	133	80	▲ 53	-
営業外費用	173	166	▲ 7	-	246	225	▲ 21	-
経常利益又は損失 (▲)	▲ 886	328	+1,214	-	▲ 1,382	▲ 100	+1,282	-
特別損益	218	72	▲ 146	-	110	170	+59	-
特別利益	294	161	▲ 133	-	541	185	▲ 356	-
特別損失	75	88	+12	-	431	15	▲ 416	-
四半期(当期) 純利益又は純損失 (▲)	▲ 523	716	+1,240	-	▲ 1,216	480	+1,696	-

\*2022年11月1日発表の通期予想から変更していません

# 運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2023年3月期 3Q累計実績				
		運輸収入	対前年	主な増減要因		
新幹線	2,563	+982 (162.1%)	基礎トレンド(100.0%)			
			特殊要因	・コロナ影響の低減	+932	
				・インバウンド需要の回復	+17	
				等		
在来線	近畿圏	+324 (120.6%)	基礎トレンド(100.0%)			
			特殊要因	・コロナ影響の低減	+301	
				・インバウンド需要の回復	+14	
	その他	634	+144 (129.6%)	基礎トレンド(100.0%)		
				特殊要因	・コロナ影響の低減	+136
					・インバウンド需要の回復	+3
					等	
在来線計		+469 (122.7%)				
運輸収入計		+1,451 (139.8%)				

※荷物収入は金額些少のため省略

# 運輸収入と旅客輸送量の実績と業績予想

運輸収入

(単位：億円)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ)

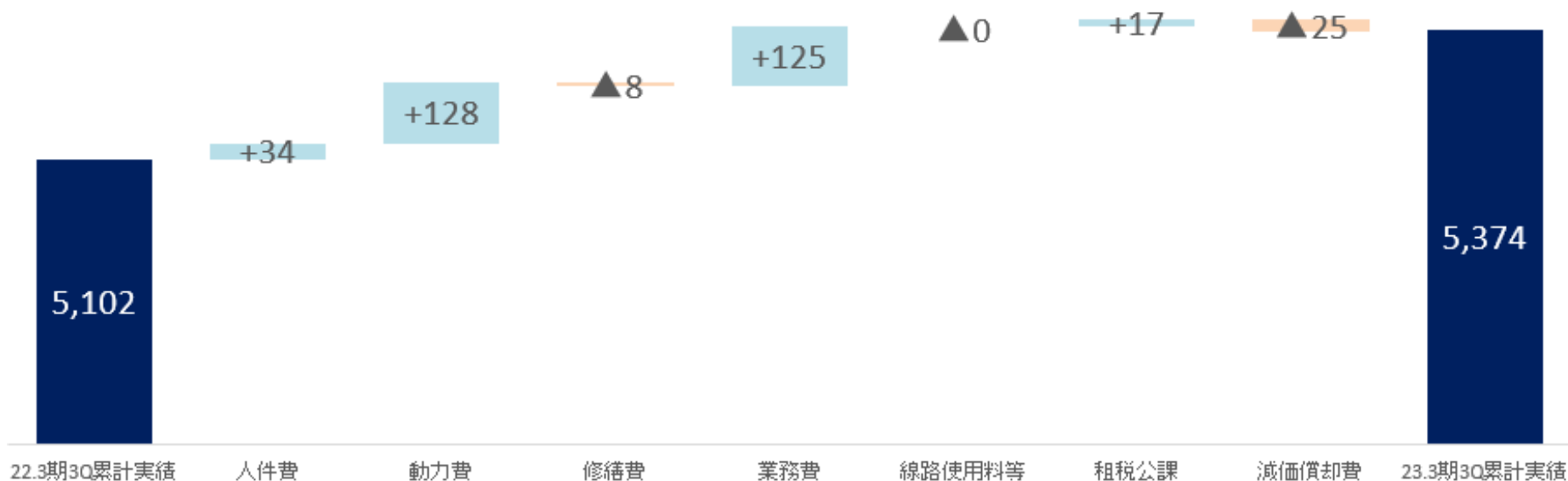
	3Q累計実績 (4/1~12/31)			3Q実績 (10/1~12/31)			通期実績/予想			3Q累計実績 (4/1~12/31)			3Q実績 (10/1~12/31)		
	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年	2022年 3月期 通期実績	2023年 3月期 通期予想 (1/31)*	対前年	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年	2022年 3月期	2023年 3月期	対前年
全社計	3,651	5,103	+1,451 139.8%	1,551	1,896	+344 122.2%	4,876	6,730	+1,853 138.0%	28,273	35,636	+7,363 126.0%	11,008	12,837	+1,829 116.6%
新幹線	1,581	2,563	+982 162.1%	751	994	+243 132.4%	2,116	3,390	+1,273 160.2%	7,280	11,843	+4,563 162.7%	3,473	4,651	+1,177 133.9%
定期	80	84	+4 105.2%	26	28	+1 105.5%	106	-	-	623	658	+34 105.6%	205	217	+12 106.0%
定期外	1,500	2,478	+977 165.2%	724	966	+241 133.4%	2,010	-	-	6,657	11,185	+4,528 168.0%	3,268	4,433	+1,165 135.7%
在来線	2,070	2,540	+469 122.7%	800	901	+101 112.7%	2,760	3,340	+579 121.0%	20,993	23,792	+2,799 113.3%	7,534	8,185	+651 108.6%
定期	905	938	+33 103.7%	303	312	+9 103.0%	1,191	-	-	14,669	15,194	+524 103.6%	4,881	4,986	+105 102.2%
定期外	1,165	1,601	+436 137.5%	496	589	+92 118.6%	1,569	-	-	6,323	8,598	+2,275 136.0%	2,653	3,199	+546 120.6%
近畿圏	1,580	1,905	+324 120.6%	597	670	+73 112.2%	2,107	2,510	+402 119.1%	16,658	18,669	+2,010 112.1%	5,921	6,399	+477 108.1%
定期	742	772	+29 104.0%	249	256	+7 103.2%	978	-	-	11,983	12,461	+478 104.0%	4,002	4,101	+98 102.5%
定期外	838	1,133	+295 135.2%	348	413	+65 118.7%	1,128	-	-	4,675	6,207	+1,531 132.8%	1,918	2,297	+379 119.8%
その他	489	634	+144 129.6%	202	230	+28 114.0%	653	830	+176 127.1%	4,334	5,123	+789 118.2%	1,613	1,786	+173 110.8%
定期	163	166	+3 102.1%	54	55	+1 102.4%	212	-	-	2,686	2,732	+45 101.7%	878	884	+6 100.7%
定期外	326	467	+141 143.3%	148	175	+26 118.2%	440	-	-	1,647	2,391	+743 145.1%	734	901	+166 122.7%

\*2022年11月1日発表の通期予想から変更していません

# 単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

	2023年3月期 3Q累計実績			主な増減要因
		対前年		
人件費	1,383	+34	102.6%	賞与の増 等
動力費	423	+128	143.7%	燃料費調整額の増 等
修繕費	886	▲ 8	99.0%	コスト構造改革による減、工事進捗差 等
業務費	1,261	+125	111.0%	収入連動経費の増、燃料費調整額の増、広告宣伝費の増 等
線路使用料等	199	▲ 0	99.7%	
租税公課	302	+17	106.0%	法人事業税の増 等
減価償却費	917	▲ 25	97.3%	償却進捗 等
営業費用計	5,374	+271	105.3%	



# 連結損益計算書と業績予想

(単位：億円)

	2022年3月期 3Q累計実績 A	2023年3月期 3Q累計実績 B	対前年		2022年3月期 通期実績 C	2023年3月期 通期予想 (1/31)* D	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
営業収益	7,299	9,748	+2,448	133.5	10,311	13,090	+2,778	127.0
営業費用	8,094	9,048	+953	111.8	11,501	12,790	+1,288	111.2
営業利益又は損失 (▲)	▲ 794	699	+1,494	-	▲ 1,190	300	+1,490	-
営業外損益	▲ 31	▲ 101	▲ 69	-	▲ 19	▲ 165	▲ 145	-
営業外収益	160	72	▲ 88	-	236	72	▲ 164	-
営業外費用	192	174	▲ 18	-	255	237	▲ 18	-
経常利益又は損失 (▲)	▲ 826	598	+1,424	-	▲ 1,210	135	+1,345	-
特別損益	225	45	▲ 179	-	154	90	▲ 64	-
特別利益	329	148	▲ 181	-	588	-	-	-
特別損失	104	102	▲ 1	-	433	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益又は純損失 (▲)	▲ 540	873	+1,413	-	▲ 1,131	585	+1,716	-
(四半期) 包括利益	▲ 543	924	+1,467	-	▲ 1,122	-	-	-

\*2022年11月1日発表の通期予想から変更しておりません



# セグメント情報と業績予想

(単位：億円)

	2022年3月期 3Q累計実績 A	2023年3月期 3Q累計実績 B	対前年		2022年3月期 通期実績 C	2023年3月期 通期予想 (1/31) <sup>*3</sup> D	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A			増減 D-C	比率(%) D/C
営業収益 <sup>*1</sup>	7,299	9,748	+2,448	133.5	10,311	13,090	+2,778	127.0
運輸業	4,065	5,520	+1,455	135.8	5,441	7,390	+1,948	135.8
流通業	926	1,240	+314	133.9	1,242	1,680	+437	135.2
物販・飲食	762	1,043	+281	136.9	1,020	1,390	+369	136.3
【宿泊特化型ホテル】(再掲) <sup>*2</sup>	【47】	【91】	【+44】	【193.3】	【62】	【125】	【+62】	【199.5】
百貨店	132	161	+28	121.6	181	240	+58	132.5
不動産業	998	1,116	+118	111.9	1,511	1,620	+108	107.2
ショッピングセンター	337	389	+51	115.4	456	540	+83	118.3
不動産賃貸・販売	648	721	+72	111.1	1,040	1,075	+34	103.3
【不動産販売】(再掲)	【291】	【340】	【+49】	【116.8】	【566】	【573】	【+6】	【101.2】
その他	1,310	1,870	+560	142.8	2,115	2,400	+284	113.5
ホテル	140	230	+90	164.3	185	315	+129	169.6
旅行	595	1,011	+416	170.0	959	1,110	+150	115.7
営業利益又は損失(▲) <sup>*1</sup>	▲ 794	699	+1,494	-	▲ 1,190	300	+1,490	-
運輸業	▲ 937	310	+1,247	-	▲ 1,443	▲ 110	+1,333	-
流通業	▲ 65	34	+100	-	▲ 86	20	+106	-
物販・飲食	▲ 53	29	+83	-	▲ 71	10	+81	-
【宿泊特化型ホテル】(再掲) <sup>*2</sup>	【▲ 32】	【▲ 10】	【+21】	-	【▲ 43】	【▲ 20】	【+23】	-
百貨店	▲ 12	2	+15	-	▲ 14	5	+19	-
不動産業	240	275	+34	114.5	300	350	+49	116.6
ショッピングセンター	42	65	+23	155.9	45	70	+24	154.1
不動産賃貸・販売	137	156	+18	113.3	172	200	+27	115.9
【不動産販売】(再掲)	【23】	【45】	【+21】	【190.9】	【64】	【72】	【+7】	【112.3】
その他	▲ 55	51	+107	-	29	70	+40	235.1
ホテル	▲ 69	▲ 17	+52	-	▲ 90	▲ 40	+50	-
旅行	▲ 2	47	+50	-	24	0	▲ 24	-

<sup>\*1</sup> 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません

<sup>\*2</sup> 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます

<sup>\*3</sup> 2022年11月1日発表の通期予想から変更していません

# 各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2023年3月期 3Q累計実績			主な増減要因
			対前年			
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	1,043	+281	136.9	・緩やかな需要回復による構内店舗の売上増、 旅行需要の回復による宿泊特化型ホテルの売上増 等
		営業利益	29	+83	-	
	百貨店	営業収益	161	+28	121.6	・緩やかな需要回復による店舗の売上の増 等
		営業利益	2	+15	-	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	389	+51	115.4	・SC売上高回復による賃料収入の増、 富山「MAROOT」開業 等
		営業利益	65	+23	155.9	
	不動産賃貸・販売	営業収益	721	+72	111.1	・賃貸物件の平年度化、投資家向け販売の増 等
		営業利益	156	+18	113.3	
その他	ホテル	営業収益	230	+90	164.3	・旅行需要の回復による宿泊部門の売上増 等
		営業損失	▲ 17	+52	-	
	旅行	営業収益	1,011	+416	170.0	・旅行、非旅行事業の増 等
		営業利益	47	+50	-	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません

# 連結財政状況

(単位：億円)

	2022年3月期 期末 A	2023年3月期 3Q期末 B	増減 B-A
資産	37,024	37,139	+114
負債	26,282	25,730	▲551
純資産	10,742	11,408	+666
長期債務残高	17,248	16,842	▲406
【長期債務平均金利 (%)】	【1.17】	【1.19】	【+0.02】
新幹線債務	998	992	▲5
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	9,749	9,699	▲49
【社債平均金利 (%)】	【0.98】	【0.98】	【-】
DER	1.8	1.6	▲0.2
自己資本比率 (%)	26.2	27.8	+1.6
1株当たり純資産 (円)	3,973.15	4,238.98	+265.83

# 諸元表

(単位：人、億円)

	2022年3月期 3Q累計実績	2023年3月期 3Q累計実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想(1/31) <sup>*2</sup>
連結ROA (%)	-	1.9	-	0.8
連結ROE (%)	-	8.7	-	5.9
連結EBITDA <sup>*1</sup>	401	1,880	429	1,930
連結減価償却費	1,187	1,180	1,608	1,630
連結設備投資 (自己資金)	1,117	1,056	2,131	2,450
単体設備投資 (自己資金)	790	765	1,494	1,640
安全関連投資	435	330	830	730
1株当たり配当金 (円)	50.0	50.0	100.0	100.0

	2022年3月期 3Q累計実績		2023年3月期 3Q累計実績		2022年3月期 通期実績		2023年3月期 通期予想(1/31) <sup>*2</sup>	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	47,212	22,790	45,145	21,748	46,779	22,715	-	-
金融収支	▲ 138	▲ 137	▲ 147	▲ 135	▲ 181	▲ 188	▲ 198	▲ 181
受取利息・配当金	22	22	10	21	32	24	12	26
支払利息	160	159	157	156	214	212	210	208

<sup>\*1</sup> EBITDA = 営業利益又は損失 + 減価償却費 + のれん償却額

<sup>\*2</sup> 2022年11月1日発表の通期予想から変更してありません

# 将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
  - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
  - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
  - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
  - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
  - 感染症の発生・流行
  - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の障害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2023年1月31日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2023年1月31日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>